



# 風の子

糸魚川市立木浦小学校

学校だより No.13

令和元年12月9日発行



## 木浦のすばらしさに感謝を込めて・収穫祭・

11月29日（金）、日頃から地域学習の講師やボランティアとして当校の教育活動を支えてくださる地域の方々15名をお招きし、恒例の収穫祭を行いました。

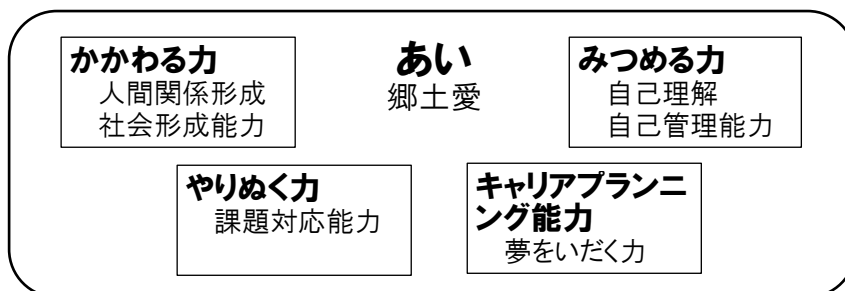
メイン料理のサケ汁の中には、子どもたちの学習に関わるものがいっぱい詰まっています。サケは先日、3・4年生が採卵授精して命をつないだものです。また、1・2年生が作ったこんにゃく、5・6年生が理科の学習で育てたジャガイモ、地域の方からいただいた野菜もたっぷり入れ、サケから取った出汁で子どもたちが調理しました。その上、御飯は「風の子米」。子どもたちの元気パワーと地域の皆様の熱い思いがたっぷり入った料理はおいしくないはずがありません。

当校の子どもたちは、地域の皆様の御協力で地域のすばらしい自然や文化に触れ、地域を愛する方々の姿を見てきました。一方で、学習の成果をいかして、今回の収穫祭のように喜んでいただいたり、役に立ったりする地域に貢献する活動も重視してきました。それらを積み重ねて成長していくことによって、将来、大人になっても故郷木浦を愛し、ここで育ったことを自信と誇りにして生きていけると思っています。心豊かな子どもに育てられる木浦のすばらしい「人、もの、こと」に感謝します。

# 身近で活躍する専門家から仕事への思いや生き方を学ぶ キャリア教育強調旬間の取組

能生中学校区では、

ふるさと「能生」への愛着と誇りをもち、夢に向かって、未来を切り拓く子どもの育成を目指しています。そのために、5つの視点から育てたい資質・能力を捉え、各教科や総合的な学習の時間などに関連づけた教育活動を行っています。



## 鮮やかな手さばきと軽快な話術 美容師の仕事

市内で美容院を営む美容師さんから、講話と実演をしていただきました。

「お客様の要望と違う取り戻せない失敗をして、一生懸命に心を尽くして謝ったら、その後から指名いただくようになった。」とのこと。

実演では、5・6年の3人の女子をモデルに、髪をセットしていただきました。軽快な話術に加え、プロの鮮やかな手さばきと子どもたちの変身にみんな驚いていました。



## 様々な職種の人がチームを組んで 病院の仕事

5・6年生は、市内の病院の看護部長さんから、病院で働く人のお話を聞きました。

病院ではチームを組んで、信頼し合い支え合って仕事をしているということを強調されていました。みんな仲間なので、相手の気持ちをしっかり聞いたり、感謝の言葉を伝えたりと、言葉の掛け方を大切にしておられるそうです。そして、やればやっただけ役に立っていることが実感できるので、やりがいを感じるとお話しになりました。

12/12 (木)、13 (金) 個別懇談  
24 (火) 2学期終業式

1 / 7 (火) 3学期始業式  
9 (木) 校内書き初め大会  
23 (木)、24 (金) 学力検査  
31 (金) スキー教室

※12月28日から1月5日までは、  
閉庁となります。御了承ください。